

(様式1)

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
県民公園頼成の森 自然保護課

2 施設所在地
砺波市頼成156

3 施設設置年度
昭和50 年度

4 設置目的
県民公園の自然風致公園として、県民に森林を生かした休養、レクリエーションの場を提供することを目的として設置された公園で、森林と花しょうぶ園の適切な管理を行うとともに、森林学習の場として森林科学館の有効活用を図る。

5 施設概要
・敷地面積
115 ha
・主な施設
森林科学館：木造平屋建て 361.164 m²
水生植物園：約6 ha 花しょうぶ（600品種、70万株）
遊歩道：総延長13.4km
展示林（第20回全国植樹祭会場跡地）
バーベキュー施設：8人用10卓

6 指定管理者
公益財団法人 花と緑の銀行

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 152,098 | 153,609 | 158,634 | 111,215 | 128,769 |

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|-----|----|----|----|
| — | — | — | — | — |

【参考】利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

| H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|-----|----|----|----|
| — | — | — | — | — |

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

目標値は、入園者数150千人、花しょうぶ祭り60千人であるが、令和3年度の入園者数は128,769人、花しょうぶ祭り44,055人で、いずれも目標値を達成することができなかった。しかし、入園者数は対前年比116%で、コロナ前3年平均の83%まで回復した。また、祭り入場者数は対前回(平成元年)比80%と概ね平年並みの入場者数まで回復したと評価できる。

花しょうぶ祭りは新型コロナ禍での感染症対策を十分に実施しての二年ぶりの開催となった。祭りのイベントも、大幅に縮小し開催された。祭りでの新型コロナ対策は、入口を1つにし、来園者にマスクの着用、手指の消毒、体温測定、入場者カードの記入の依頼等を十分に実施した結果、クラスターなどの発生も起きなかったことは評価できる。

(2) サービス向上に向けた取組み

より開かれた県民公園とするため、令和3年度に頼成の森ホームページの全体更新(スマホ・タブレット対応)や夏休み中の子ども向けイベントを計画するも8月後半は新型コロナにより中止せざるを得なかった。また、第一駐車場周辺花壇の整備を行った外、令和3年度も引き続き、地域の小学校の校外学習への協力(リモート対応)を実施した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

イベント情報をより多くの県民が得られるよう、パンフレットを砺波市内の全ての幼稚園・保育園、市外の児童施設や道の駅等に配布するとともに、頼成の森ホームページの更新、ブログ(頼成の森だより)、各種配布物によって、頼成の森の自然イベント情報をリアルタイムで提供した。また、令和3年度にはBBQ仮予約システムをHP上に新設し、スマホ対応を図り利便性を向上させた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

| | |
|-------------|---|
| 実施方法 | 実施期間：通年、実施方法：森林科学館にアンケートBOXを設置 |
| 回答者数 | 23件 |
| 結果 | 「安全に観察を楽しめた」「良い」「きれい」等の回答が78.3% 「トイレの荷掛けフックが高すぎ、もう少し下げれば！」 |
| 結果を踏まえた改善事項 | トイレの荷掛けフックの位置を下げることを検討・実施。 |

② その他利用者の声を反映させる取組み

利用者のニーズを的確に把握するために、来園者や各種イベント参加者を対象に聞き取りやアンケート等を実施した。

③ 主な苦情と対応

遊歩道に落枝・倒木→逐次、撤去

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に関する指針を定めて職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

花しょうぶ祭り実行委員会の一員として、砺波市、砺波市観光協会、砺波商工会議所、地元自治振興会等の関係団体と連携をとり、祭りの開催の可否及び内容等を検討した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持・管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

ヒヨドリ山・天狗山周辺の遊歩道沿い、及び管理道沿いの枯損木を処理し、利用者への安全確保に努めた。また、遊歩道の刈払いを行い、利用しやすい遊歩道の維持に努めた。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

| 有/無 | 回数(有の場合) |
|-----|----------|
| 有 | 12 |
| 有 | 7 |
| 無 | — |
| 無 | — |

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が大幅に減少したが、今後も多くの方に来園していただけるよう、感染防止対策を適切に実施しながら、来園者を対象としたアンケート調査により利用者ニーズを的確に把握し、来園者への適切な情報提供やサービス向上に取り組んでいただきたい。
- ・森林を生かした休養・レクリエーションの場として、多くの県民に安全で良好な状態で施設が利用できるよう、引き続き施設の巡視等に取り組む必要がある。
- ・木製遊具が更新の時期に近づいており、対応等を検討していく必要がある。